

講義名：国際法＜秋集＞		ナンバリングコード：0	
担当教員名：軽部 恵子			
研究室：聖アンデレ館10階1022号室		オフィスパワー：火曜12:40-13:40、金曜12:40-13:10	
メールアドレス：			
授業形態			
『講義』			
講義・演習概要			
この講義では、国際法の基礎を学びます。国際法がわかると、新聞やテレビの国際ニュースがわかるようになります。それは、国際法が国家の行動を律する世界共通のルールだからです。国際法の勉強には世界史の基礎知識が必要不可欠です。国際法を履修する予定の人は、春学期の国際機構論を履修するか、予め高校程度の世界史を自分で勉強して下さい。国際法の導入部分は国際機構論の前半と似ていますが、取り上げ方が大きく異なります。授業では、絵画、写真、ドキュメンタリー番組、史実に基づいた映画などの視聴覚教材を積極的に利用します。国際問題に関する重大ニュースは、随時取り上げます。ドキュメンタリー番組や国内外のメディア（新聞社、テレビ局、通信社）のホームページを教材として用い、メディア・リテラシーを学びます。国際法に関連した学内講演会に参加することがあります。			
学習目標			
(1)国際法の基礎知識を習得する。(2)国際法の視点から国際ニュースを考察する。(3)国際問題の理解に必要な一般教養(歴史、文化、宗教など)を学ぶ。			
講義・演習計画			
【第1回】国際法とは何か	【第16回】国家(8) 領域⑤ 持続可能な海洋資源の利用		
【第2回】戦争と平和の法(1) 宗教改革から三十年戦争へ	【第17回】国家(9) 領域⑥ 領空		
【第3回】戦争と平和の法(2) アメリカ独立革命とフランス革命	【第18回】国家(10) 領域⑦ 宇宙空間と核開発競争		
【第4回】戦争と平和の法(3) ナポレオン戦争とウィーン体制	【第19回】国家(11) 国家責任		
【第5回】戦争と平和の法(4) ハーグ平和会議	【第20回】国家(12) 外交的保護		
【第6回】戦争と平和の法(5) 赤十字国際委員会の設立	【第21回】国家(13) 国籍		
【第7回】国際法の重要原則(1) 合意は拘束する	【第22回】条約(1) 条約案の交渉		
【第8回】国際法の重要原則(2) 国際法と国内法との関係	【第23回】条約(2) 条約の署名と批准		
【第9回】国家(1) 国際法上の国家	【第24回】条約(3) 条約の効力発生		
【第10回】国家(2) 属地主義と国籍主義	【第25回】条約(4) 条約の無効と終了		
【第11回】国家(3) 犯罪人引渡	【第26回】条約(5) 条約と国内法の関係		
【第12回】国家(4) 領域① 領域の得喪	【第27回】特別テーマ(1) 日本国憲法と日米安保条約		
【第13回】国家(5) 領域② 領土紛争	【第28回】特別テーマ(2) 終戦と国際法		
【第14回】国家(6) 領域③ 無害通航権	【第29回】特別テーマ(3) 核軍縮の国際法		
【第15回】国家(7) 領域④ 通過通航権	【第30回】学期末試験とまとめ		
成績評価の方法			
試験	100%	レポート	0%
出席			0%
コメント	秋学期末試験のみで評価します。教室内で出席票を配布するのは、受講生が講義への感想や質問、要望等を書くため、「出席点」にはなりません。また、講義時間内に行う小テストは、成績評価にいい関係ありません。		
テキスト			
著書	奥脇直也・岩沢雄司 編集代表	タイトル	国際条約集2016
ISBN		出版社	有斐閣
教科書購入区分	生協購入	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
参考文献			
柳原正治他編『プラクティス国際法講義』第2版 信山社 2013年 大沼保昭編『資料で読み解く国際法』第2版 全2巻 東信堂 2002年 島田征夫編著『国際法学入門』成文堂 2011年 杉原高嶺『基本国際法』第2版 有斐閣 2014年 国際法学会編『国際関係法辞典』第2版 三省堂 2005年 鳥海靖編『もういちど読む山川日本近代史』山川出版社 2013年 木谷勤『もういちど読む山川世界現代史』山川出版 2015年 山崎広明編『もういちど読む山川政治経済』山川出版社 2010年 宮下規久朗『モチーフで読む美術史』筑摩書房 2013年 成美堂出版編集部編『一冊でわかるイラストでわかる図解宗教史』成美堂出版 2008年 マクニール『戦争の世界史』全2巻 中央公論新社 2014年			
事前および事後学習の指示（事前学習 60 時間 ・事後学習 60 時間）			
教室で毎回配布される講義レジュメの指示に従って、教科書の関連部分および参考サイトで予習・復習してください。			
その他備考（担当教員用）			
①履修登録する前に、教員作成の「講義運営のルール」を必ず読んで下さい。学期冒頭に配布します。 ②勉強の方法については、教員作成の「国際法・国際機構論を履修する皆さんへ（勉強のガイド）」を参照して下さい。 ③教科書は毎回使います。教科書を持参しない学生に対する配慮はありません。			
キーワード			
備考（管理者用）			